

学位研究第12号 平成12年6月（論文）
[大学評価・学位授与機構 研究紀要]

学位に付記する専攻分野の新たな名称の傾向

Contemporary Trends in Nomenclature of Academic Degree in Japan

六車 正章

Masaaki MUGURUMA

Research in Academic Degrees, No. 12 (June, 2000) [the article]

The Journal on Academic Degrees of National Institution for Academic Degrees

1	はじめに	97
2	付記する名称の種類数	97
3	新たな名称の内訳	98
4	新たな名称の傾向	100
	(1) 専門分野別の種類数	100
	(2) 特定の語句を使用した名称	108
5	おわりに	110
	ABSTRACT	111

学位に付記する専攻分野の新たな名称の傾向

六車 正章*

1 はじめに

我が国の学位については、学校教育法第68条の2各項の規定により、「学士、修士、博士」の3種類とされ、「大学又は大学評価・学位授与機構（平成12年4月1日に『学位授与機構』より改組。以下、『機構』と表記する。）が、文部大臣の定めるところにより、授与するもの」とされている。そして、この規定を受けた学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）の第10条において、「大学及び機構は、学位を授与するに当たっては、適切な専攻分野の名称を付記するものとする」とされている。

この現行制度は、平成3年2月8日の大学審議会答申（「学位制度の見直し及び大学院の評価について」）を受けて、同年6月3日に改正（施行は同年7月1日）された後のものであり、改正前は、「大学院を置く大学は、監督庁の定めるところにより、…学位を授与することができる」と規定されるとともに（改正前の学校教育法第68条）、学位として「博士19種類、修士28種類」が定められていた（改正前の学位規則第2条、別表第1及び別表第2）。また、学士については、改正前の学校教育法第63条の規定により、大学を卒業した者が称することができる称号として位置付けられるとともに、改正前の大学設置基準（昭和31年10月22日文部省令第28号）の第34条及び別表第4において29種類が定められていた。

即ち、この改正により、「大学は教育課程を設計し、その課程にふさわしい専攻分野名を付した学位を設定することとなった」（舘 昭，1995年，p.50）のである。

一方、機構においては、平成6年度から、各大学が学位を授与するに当たってどのような専攻分野の名称を付記することとしているかについて、各大学の御協力をいただいて調査（「学位に付記する専攻分野の名称」）を行っている。その平成6年度、7年度及び10年度のまとめについては、本紀要第2号、第5号及び第12号（本号）に掲載されているところである。

本稿は、この機構による調査の平成6年度から10年度までのまとめを踏まえて、学位に付記する専攻分野の名称のうち新たなものについての傾向を、整理・概観したものである。

2 付記する名称の種類数

まず、表1に学位に付記する専攻分野の名称の種類数の推移を示すとともに、表2に各年度

* 大学評価・学位授与機構学位審査研究部 教授

の調査における各大学からの回答状況を示した。

平成6年度の初調査において、平成3年度改正前に比べて名称の種類数が学士で8.6倍、修士で6.5倍、博士で6.6倍と、大幅に増加している。平成7年度以降についても毎年逐次増加しており、平成10年度においては、平成6年度に比べて学士、修士、博士ともほぼ1.5倍の増加となっている。

表1に示す各年度調査による数字は、全体数を正確に表すものでは勿論ないが、表2に示す各年度の回答率の高さ（最低でも平成6年度の94.7%～最高では9年度の99.7%）から、ほぼ全体像を表しているものと理解できる。

表1 名称の種類数

区分	平成3年度改正前	平成6年度調査	平成7年度調査	平成8年度調査	平成9年度調査	平成10年度調査
学士	29	250	292	308	348	367
修士	28	181	194	218	241	261
博士	19	125	136	152	167	185

表2 大学数、回答状況

区分	平成6年度調査			平成7年度調査			平成8年度調査			平成9年度調査			平成10年度調査		
	大学数 (校)	回答数 (校)	回答率 (%)												
大学(大学院大学を除く)	550	524	95.3	562	560	99.6	572	570	99.6	584	583	99.8	599	592	98.8
修士課程を置く大学	217	207	95.4	341	330	96.8	359	357	99.4	378	376	99.5	396	394	99.5
博士課程を置く大学	170	156	91.8	276	264	95.7	292	289	98.9	303	302	99.7	303	302	99.7
計	937	887	94.7	1179	1154	97.9	1223	1216	99.4	1265	1261	99.7	1298	1288	99.2

3 新たな名称の内訳

次に、平成6年度以降の各年度の調査で新たに「専攻分野の名称」として例のあったものを一覧表で示したのが、表3である。また、表4は、各年度の調査において付記されなくなった名称の一覧表である。

学士について平成7年度調査で46種類、9年度調査で41種類とやや多くなっているほかは、修士、博士も含めて、この4年間では、毎年おおむね20種類前後の増加となっている。

表3 新たに付記された名称

区分	平成7年度調査	平成8年度調査	平成9年度調査	平成10年度調査
学士	アジア文化学、伊伊語学、インド 初ア語学、栄養科学、会計 学、家庭理学、環境科学、 環境理工学、経営法学、計 算機科学、健康スポーツ科学、 健康福祉学、言語学、言語 聴覚障害学、交通電子機械 工学、国際開発学、国際経 営学、コミュニケーション学、産業 科学技術、材料工学、社会文 化学、商船システム工学、情報 社会科学、情報通信工学、 スポーツマネジメント学、生活経営学、 生物工学、電子情報、都市 情報学、日本文化学、人間 環境学、人間福祉学、人間 文化、被服学、福祉学、ワ ィン語学、文化史学、放射線 ・情報科学、放射線技術科 学、保健科学、保健看護 学、貿易・観光学、貿易 学、カトリシオン学、流通情 報工学、ロシア語学	英語・英米文化、英米文 化学、音楽学、環境学、 経営環境学、健康福祉、 芸術文化学、現代社会 学、国語学国文学、国際 言語コミュニケーション学、国際 社会、子ども学、自然環 境、情報、情報数理、情 報数理科学、生物資源科 学、総合理工学、地域政 策学、人間生活学、美術 学、福祉計画学、福祉心 理、福祉文化、福祉臨床 学、流通情報学	医療経営管理学、絵画、介 護福祉学、家庭理学、学 校教育、器楽、経営政策 学、経済科学、健康福祉 ・スポーツ、言語文化学、現 代中国学、工芸、国際観 光学、国際交流学、国際 社会学、国際地域学、国 際理解教育、食物、心理 ・教育学、事業構想学、 人文社会、スペイン語学・地 域文化、声楽、生活芸術 学、生活福祉学、政策科 学・国際関係論、総合社 会システム学、総合情報学、 体育、地域科学、彫刻、 デザイン、人間学、人間環 境、人間行動学、美術・ 工芸、福祉援助学、福祉 社会学、福祉情報学、文 化コミュニケーション学、法経	医療経営学、環境 理学、観光学、健 康栄養学、行動科 学、国際言語文 化、国際コミュニ ケーション政策学、 コミュニティ福祉学、資 源学、社会情報、 情報社会政策学、 人文社会科学、診 療放射線学、生活 環境科学、生活ワ ィン学、地域環境学、 地域経済、人間発 達学、農学生命科 学、邦楽、放射線 学、理工学
	46種類	26種類	41種類	23種類
修士	医療薬学、開発研究、経営 法学、公共政策、交通電子 機械工学、材料工学、社会 情報学、障害科学、商船シ ステム学、情報管理学、情報通 信工学、人文、政策分析、 生物工学、中国語学、人間 生活学、文化財、流通情報 工学	医療情報学、医療福祉学、 英語学英米文学、衛生学、 イキキ科学、感覚矯正学、 健康体育学、芸術文化、 国際コミュニケーション、シ ステム工学、社会人類学、社会情 報、宗教文化、消費者科 学、食物栄養学、女性 学、生活造形学、デザイン工 学、日本史学、人間発達 学、フィッネス、武道・スポ ーツ、保健衛生学、流通科学、 臨床栄養学、臨床心理 学、臨床薬学、歴史民俗 資料学	医学、演奏芸術、音楽学、 環境学、環境造形、教養 学、経営経済学、計量ワ ィン学、芸術制作、国際開 発学、コンピュータ理工学、社 会工学、生涯発達、数理 工学、スポーツ健康科学、生 活環境情報学、生活造形、 総合政策、地域社会学、 地域政策学、都市・環境 システム、日本語日本文化、 日本文化学、比較芸術、 福祉社会、舞台芸術、臨 床福祉学	アドミニストレーション、医 療科学、英語英文 学、英語教育学、 英米文化、応用言 語学、観光学、国 際関係学、国際 文化学、作業療法 学、情報管理、人 文、生活学、生活環 境学、知識科学、 日本語教育学、人 間環境学、比較文 明学、不動産学、 保健福祉学、理学 療法学
	18種類	28種類	27種類	21種類
博士	行政学、経営情報学、芸術 文化学、国際文化、材料工 学、食品栄養科学、情報通 信工学、生活科学、生物工 学、生物産業学、都市科学、 図書館情報学、文化財	イキキ科学、学校教育学、 国際関係、システム・マ ネジメント、社会人類学、障害科学、 食物栄養学、政策・メ ディア、生命科学、先端科学技術、 日本史学、人間文化学、 比較社会文化、比較文化 学、民俗学、臨床薬学、 歴史民俗資料学	医科学、経営法学、計量 フィッネス、芸術、国際政治 経済学、社会科学、社会 工学、社会情報学、商船 学、情報管理学、数理工 学、生活造形学、政策科 学、地域研究、都市・環 境システム、イイ文化研究、 臨床教育学	医療科学、医療情 報学、医療福祉学、 英語英文学、英語 学英米文、感覚矯 正学、観光学、健 康科学、国際ミ ニケーション、国際 マネジメント、宗 教文化、情報管 理、生活環境学、 生物資源学、生 物生産学、知識科 学、人間環境学、流 通科学、臨床心理学
	13種類	17種類	17種類	19種類

表4 付記されなくなった名称

区分	平成7年度調査	平成8年度調査	平成9年度調査	平成10年度調査
学士	衛生技術学、外国語研究、経営、芸術学（音楽）、美術史学	家庭理学、工業、交通電子機械工学、行動科学、材料工学、商船システム工学、バイ言語学・地域文化、デザイン、貿易・観光学、流通情報工学	美術学、福祉心理	家庭理学、言語文化学、心理・教育学、生活芸術学
	5種類	10種類	2種類	4種類
修士	医学、経済情報、国際コミュニケーション、食物栄養学、日本史学、日本文化学	交通電子機械工学、材料工学、商船システム工学、流通情報工学	経営工学、食物栄養学、人文、都市・地域計画	生活環境情報学
	6種類	4種類	4種類	1種類
博士	食物栄養学、ドイツ文化研究、日本史学	材料工学	経営工学、都市・地域計画	ドイツ文化研究
	3種類	1種類	2種類	1種類

※「家庭理学（学士）」の再掲（平成7年度、9年度）は平成8年度調査で付記されなくなった名称となったこと、また、「人文（修士）」の再掲（平成7年度、10年度）は平成9年度調査で付記されなくなった名称となったことに拠るものである。
 ※「衛生学（修士）」（平成8年度）は、改正前の学位規則に衛生学修士として定められていた。

4 新たな名称の傾向

(1) 専門分野別の種類数

各年度の調査で新たに専攻分野の名称として例のあったものの一覧とその種類数は、表3で既述したが、それらについて、所属する学部・研究科の名称とともに専門分野ごとに区分して示したのが、それぞれ表6（学士）、表7（修士）、表8（博士）であり、表5はその総括表である。なお、専門分野の区分については、便宜上、機構が学士を授与する際に用いている専攻分野の名称区分を基にしている。

表5により、平成7年度から10年度までの4年間を合計した、専門分野ごとの新たな名称の種類数をみると、学士では文学の分野が24件（全体の17.6%）と最も多く、次いで社会学（19件）、工学及び芸術（いずれも12件）、保健衛生学及び家政学（いずれも11件）の分野の順となっている。修士では、学士と同じく文学の分野が17件（全体の18.1%）と最も多く、次いで保健衛生学及び工学（いずれも11件）、芸術学（10件）の分野の順となっている。博士でも、文学の分野が13件（全体の19.7%）と最も多く、次いで経営学及び工学（いずれも8件）の分野の順となっている。

また、学士、修士、博士の三者間の比較でみると、三者間を通して多いのが、文学及び工学の分野であり、特に学士だけで多いのが社会学（全体の14.0%）の分野であり、博士だけで多いのが経営学（全体の12.1%）の分野である。

表5 専門分野別の新たな名称の種類数

区分	学士					修士					博士				
	⑦	⑧	⑨	⑩	計	⑦	⑧	⑨	⑩	計	⑦	⑧	⑨	⑩	計
文学	9	6	5	4	24	2	6	3	6	17	2	5	2	4	13
教育学	0	4	4	1	9	0	0	0	2	2	0	1	1	0	2
社会学	2	3	10	4	19	1	1	2	1	5	0	0	1	1	2
教養	1	1	4	0	6	0	0	1	0	1	0	3	0	0	3
法学	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
政治学	0	1	0	1	2	3	0	1	0	4	0	0	1	0	1
経済学	1	0	1	1	3	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1
商学	3	1	0	0	4	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1
経営学	1	1	1	0	3	2	1	2	1	6	1	1	4	2	8
理学	1	1	1	1	4										
医学						1	0	1	0	2	0	2	1	0	3
薬学						1	1	0	0	2	0	1	0	0	1
看護学						0	0	1	0	1					
保健衛生学	7	0	1	3	11	0	7	0	4	11	0	0	0	6	6
栄養学	1	0	0	1	2	0	2	0	0	2	1	1	0	0	2
工学	8	3	0	1	12	5	2	4	0	11	3	3	2	0	8
芸術工学						0	1	0	0	1	0	0	1	0	1
商船学	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1					
農学	1	1	0	1	3						1	0	0	2	3
家政学	5	1	2	3	11	1	3	1	2	7	1	0	1	1	3
芸術学	0	3	8	1	12	1	1	8	0	10	2	0	1	0	3
体育学	3	0	2	0	5	0	1	1	0	2					
複合	2	0	1	1	4	0	1	0	4	5	1	0	1	2	4
計	46	26	41	23	136	18	28	27	21	94	13	17	17	19	66

表6 専門分野別の名称（学士）-1

区分	学部等名	新たに付記された名称			
		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
文学	外国語学部	イタリヤ語学、インドネシア語学、言語学、フランス語学、ロシア語学		スペイン語学・地域文化	
	学芸学部	人間文化			
	教育文化学部				国際言語文化
	現代文化学部		英米文化学		
	国際言語学部		国際言語コミュニケーション学		
	国際コミュニケーション学部			文化コミュニケーション学	
	国際文化交流学部				国際コミュニケーション
人文学部	アジア文化学	英語・英米文化、福祉心理、福祉文化		人文社会科学	

表6 専門分野別の名称（学士）-2

	日本文化学部			言語文化学	
	人間文化学部			人間行動学	
	文化教育学部			人間環境	
	文学部	日本文化学、文化史学	国語学国文学		行動科学
教育学	教育学部		健康福祉、子ども学、 自然環境、情報数理	国際理解教育	
	教育人間科学部				生活環境科学
	人文学部			心理・教育学	
	人間学部			人間学	
	文化教育学部			学校教育	
社会学	観光学部				観光学
	現代文化学部			国際社会学、福祉社会学	
	国際コミュニケーション学部			国際観光学	
	コミュニケーション学部	コミュニケーション学			
	コミュニティ福祉学部				コミュニティ福祉学
	社会情報学部				社会情報
	社会福祉学部		福祉計画学、福祉臨床学	福祉援助学	
	情報学部			福祉情報学	
	情報社会政策学部				情報社会政策学
	人文社会学部		現代社会学		
	人間社会学部	社会文化学			
	人間福祉学部			介護福祉学、生活福祉学	
法文学部			人文社会、政策科学・ 国際関係論、総合社会システム学		
教養（又は学芸）	現代中国学部			現代中国学	
	国際学部		国際社会		
	国際交流学部			国際交流学	
	国際地域学部			国際地域学	
	第三学群	国際開発学			
	地域科学部			地域科学	
法学	法経学部			法経	
政治学	コミュニティ政策学部				コミュニティ政策学
	地域政策学部		地域政策学		
経済学	経済科学部			経済科学	
	経済学部	貿易学			
	政治経済学部				地域経済

表6 専門分野別の名称(学士)-3

商学	商学部	会計学、経営法学、貿易・観光学			
	流通情報学部		流通情報学		
経営学	経営学部	国際経営学			
	経営政策学部			経営政策学	
	国際コミュニケーション学部		経営環境学		
理学	学芸学部		情報数理学		
	総合情報学部			総合情報学	
	光科学部、理学部、理工学部				理工学
	理学部	計算機科学			
保健衛生学	医療技術学部	リハビリテーション学			
	医療福祉学部	保健看護学		医療経営管理学	医療経営学
	保健医療学部	放射線技術科学			診療放射線学
	保健科学部	保健科学			放射線学
	保健学部	言語聴覚障害学、放射線・情報科学			
	保健福祉学部	福祉学			
栄養学	健康科学部	栄養科学			
	生活科学部				健康栄養学
工学	環境学部		環境学		
	環境理工学部	環境理工学			
	工学資源学部				資源学
	工学部	材料工学、情報通信工学、生物工学			
	産業科学技術学部	産業科学技術			
	商船学部	流通情報工学、交通電子機械工学			
	情報学部 総合理工学部	電子情報	情報 総合理工学		
商船学	商船システム工学				
農学	環境科学部	環境科学			
	生物資源科学部		生物資源科学		
	農学生命科学部				農学生命科学
家政学	学芸学部	被服学			
	家政学部	家庭理学、生活経営学、被服学		家庭理学	人間発達学
	食文化学部			食物	

表6 専門分野別の名称（学士）-4

	生活科学部	人間福祉学			環境理学、生活デザイン学
	人間環境学部	人間環境学			
	人間生活学部		人間生活学		
芸術学	音楽学部		音楽学	器楽、声楽	邦楽
	現代文化学部		芸術文化学		
	日本文化学部			生活芸術学	
	美術学部		美術学		
	美術工芸学部			絵画、工芸、彫刻、デザイン	
	文化教育学部			美術・工芸	
体育学	健康科学部	健康スポーツ科学			
	スポーツ健康科学部	スポーツマネジメント学			
	体育学部	健康福祉学		体育	
	文化教育学部			健康福祉・スポーツ	
その他・複合	環境システム学部				地域環境学
	事業構想学部			事業構想学	
	情報社会科学部	情報社会科学			
	都市情報学部	都市情報学			
	計	46種類	26種類	41種類	23種類

表7 専門分野別の名称（修士）-1

区分	研究科名	新たに付記された名称			
		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
文学	応用言語学研究科				応用言語学
	外国語学研究科	中国語学			
	言語文化研究科				英米文化
	国際政治経済学研究科		国際コミュニケーション		
	国際文化研究科				国際文化学
	人文科学研究科		英語学英米文学、宗教文化、女性学、日本史学		
	人文学研究科	人文			人文
	人間社会学研究科			生涯発達	
	文学研究科		日本史学	日本語日本文化、日本文化学	英語英文学、比較文明学
歴史民俗資料学研究科		歴史民俗資料学			
教育学	国際コミュニケーション研究科				英語教育学、日本語教育学
社会学	観光学研究科				観光学
	社会学研究科		社会人類学		
	地域社会学研究科			地域社会学	
	人間社会学研究科			福祉社会	

表7 専門分野別の名称（修士）-2

	文学研究科	社会情報学			
教養	国際関係学研究科			国際開発学	
法学	法学研究科				国際関係法学
政治学	公共政策研究科	公共政策			
	政策科学研究科	開発研究、政策分析、公共政策			
	総合政策研究科			総合政策	
経済学	経営経済学研究科			経営経済学	
	地域政策学研究科			地域政策学	
商学	流通科学研究科		流通科学		
経営学	経営学研究科	経営法学、情報管理学			情報管理
	国際政治経済学研究科		ファイナンス		
	社会工学研究科			計量ファイナンス、社会工学	
医学	医学系研究科	障害科学			
	医学研究科			医学	
薬学	薬学研究科	医療薬学	臨床薬学		
看護学	看護福祉学研究科			臨床福祉学	
保健衛生学	医療画像情報学研究科		保健衛生学		
	医療技術学研究科		医療情報学、感覚矯正学、健康体育学		
	医療系研究科				医療科学
	医療福祉学研究科		医療福祉学、臨床心理学		
	衛生学研究科		衛生学		
	保健医療学研究科				作業療法学、理学療法学
	健康科学研究科、保健福祉学研究科				保健福祉学
栄養学	医療技術学研究科		臨床栄養学		
	家政学研究科		食物栄養学		
工学	材料科学研究科		材料科学		
	環境学研究科			環境学	
	工学研究科	材料工学、情報通信工学、生物工学			
	コンピュータ理工学研究科			コンピュータ理工学	
	社会工学研究科			数理工学、都市・環境システム	

表7 専門分野別の名称（修士）-3

	商船学研究科	交通電子機械工学、流通情報工学			
	理工学研究科		システム工学		
芸術工学	芸術工学研究科		デザイン工学		
商船学	商船学研究科	商船システム学			
家政学	家政学研究科		生活造形学	生活環境情報学	生活環境学
	生活学研究科				生活学
	人間生活学研究科	人間生活学	消費者科学、人間発達学		
	人間文化研究科				生活環境学
芸術学	音楽芸術研究科			演奏芸術、音楽学、舞台芸術	
	芸術学研究科			教養学	
	芸術工学研究科		芸術文化		
	芸術制作研究科			芸術制作	
	造形芸術研究科			環境造形、生活造形、比較芸術	
	美術研究科	文化財			
体育学	スポーツ健康科学研究科			スポーツ健康科学	
	武道・スポーツ研究科		武道・スポーツ		
その他・複合	アドミニストレーション研究科				アドミニストレーション
	社会情報研究科		社会情報		
	知識科学研究科				知識科学
	人間環境学研究科 不動産学研究科				人間環境学 不動産学
	計	18種類	28種類	27種類	21種類

表8 専門分野別の名称（博士）-1

区分	研究科名	新たに付記された名称			
		平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
文学	外国語学研究科		比較文化学	地域研究、イテ文化研究	
	国際政治経済学研究科				国際コミュニケーション
	国際文化研究科	国際文化			
	人文科学研究科		日本史学		英語学英米文、宗教文化
	人間文化学研究科		人間文化学		
	文学研究科	図書館情報学	民俗学、日本史学		英語英文学

表8 専門分野別の名称（博士）-2

	歴史民俗資料学研究科		歴史民俗資料学		
教育学	臨床教育学研究科			臨床教育学	
	連合学校教育学研究科		学校教育学		
社会学	観光学研究科				観光学
	文学研究科			社会情報学	
教養	国際関係学研究科		国際関係		
	社会科学研究科		社会人類学		
	比較社会文化研究科		比較社会文化		
法学	行政学研究科	行政学			
政治学	総合政策科学研究科			政策科学	
経済学	国際政治経済学研究科			国際政治経済学	
商学	流通科学研究科				流通科学
経営学	経営学研究科			経営法学、情報管理学	情報管理
	経営情報学研究科	経営情報学			
	経営・政策科学研究科		システム・マネジメント		
	国際政治経済学研究科				国際マネジメント
	社会工学研究科			計量ファイナンス、社会工学	
医学	医学系研究科		障害科学、生命科学		
	医学研究科			医科学	
薬学	薬学研究科		臨床薬学		
保健衛生学	医療技術学研究科				医療情報学、感覚矯正学、健康科学
	医療系研究科				医療科学
	医療福祉学研究科				医療福祉学、臨床心理学
栄養学	家政学研究科		食物栄養学		
	生活健康科学研究科	食品栄養科学			
工学	理工学-科学研究科		理工学-科学		
	工学研究科	材料工学、情報通信工学、生物工学			
	社会工学研究科			数理工学、都市・環境システム	
	政策・マネジメント研究科		政策・マネジメント		
	理工学研究科		先端科学技術		

表 8 専門分野別の名称（博士）-3

商船学	商船学研究科			商船学	
農学	生物産業学研究科	生物産業学			
	生物資源学研究科				生物資源学
	生物生産システム研究科				生物生産学
家政学	家政学研究科			生活造形学	
	生活科学研究科	生活科学			
	人間文化研究科				生活環境学
芸術学	芸術文化研究科	芸術文化学			
	美術研究科	文化財			
	美術工芸研究科			芸術	
その他・複合	知識科学研究科				知識科学
	都市科学研究科	都市科学			
	人間環境学研究科				人間環境学
	人間文化研究科			社会科学	
	計	13種類	17種類	17種類	19種類

（2）特定の語句を使用した名称

次に、新たに付記された名称のうち、特定の語句に着目し、それらの語句を使用した名称について、平成7年度から10年度までの間の合計件数順に一覧で示したのが、それぞれ表9（学士）、表10（修士）、表11（博士）である。

まず、学士についてみると、表9に示すとおり、「福祉」が15件（4年間の合計136種類中の11.0%）と最も多く、次いで「情報」（14件）、「文化」（13件）、「国際」（12件）、「社会」（11件）、「環境」（9件）の順となっている。次いで修士では、表10に示すとおり、「情報」が8件（4年間の合計94種類中の8.5%）、「文化」（7件）、「社会」、「生活」及び「環境」（いずれも6件）の順となっている。博士では、表11に示すとおり、「文化」（8件、4年間の合計66種類中の12.1%）、「情報」（7件）、「国際」及び「社会」（いずれも5件）の順となっている。

このことから、「情報」及び「文化」は、学士、修士、博士の三者間を通しての使用件数の多い語句であることが示されている。もっとも、この4年間の毎年の推移をみる限りでは、両者（「情報」及び「文化」）を使用した新名称はともに減少の傾向にあることがみてとれる。

表9 特定の語句を使用した新名称（学士）

語句	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	件数
福祉	健康福祉学 人間福祉学 福祉学	健康福祉 福祉計画学 福祉心理 福祉文化 福祉臨床学	介護福祉学 健康福祉・スポーツ 生活福祉学 福祉援助学 福祉社会学 福祉情報学	コミュニティ福祉学	15
情報	情報社会科学 情報通信工学 電子情報 都市情報学 放射線・情報科学 流通情報工学	情報 情報数理 情報数理科学 流通情報学	総合情報学 福祉情報学	社会情報 情報社会政策学	14
文化	アジア文化学 社会文化学 日本文化学 人間文化 文化史学	英語・英米文化 英米文化学 芸術文化学 福祉文化	言語文化学 スペイン語学・地域文化 文化コミュニケーション学	国際言語文化	13
国際	国際開発学 国際経営学	国際言語コミュニケーション 国際社会	国際観光学 国際交流学 国際社会学 国際地域学 国際理解教育 政策科学・国際関係論	国際言語文化 国際コミュニケーション	12
社会	社会文化学 情報社会科学	現代社会学 国際社会	国際社会学 人文社会学 総合社会システム学 福祉社会学	社会情報 情報社会政策学 人文社会科学	11
環境	環境科学 人間環境学	環境学 経営環境学 自然環境	人間環境	地域環境学 生活環境科学 環境理学	9
人間	人間環境学 人間福祉学 人間文化	人間生活学	人間学 人間環境 人間行動学	人間発達学	8
生活	生活経営学	人間生活学	生活芸術学 生活福祉学	生活環境科学 生活デザイン学	6
地域		地域政策学	国際地域学 スペイン語学・地域文化 地域科学	地域環境学 地域経済	6
総合		総合理工学	総合社会システム学 総合情報学		3

表10 特定の語句を使用した新名称（修士）-1

語句	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	件数
情報	社会情報学 情報管理学 情報通信工学 社会情報学	医療情報学 社会情報	生活環境情報学	情報管理	8
文化	文化財	芸術文化 宗教文化	日本語日本文化 日本文化学	英米文化 国際文化学	7
社会	社会情報学	社会情報 社会人類学	社会学 地域社会学 福祉社会		6
生活	人間生活学	生活造形学	生活環境情報学 生活造形	生活学 生活環境学	6

表10 特定の語句を使用した新名称（修士）-2

環境			環境学 環境造形 生活環境情報学 都市・環境システム	生活環境学 人間環境学	6
福祉		医療福祉学	福祉社会 臨床福祉学	保健福祉学	4
国際		国際コミュニケーション	国際開発学	国際関係法学 国際文化学	4
人間	人間生活学	人間発達学		人間環境学	3
地域			地域社会学 地域政策学		2
総合			総合政策		1

表11 特定の語句を使用した新名称（博士）

語句	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	件数
文化	芸術文化学 国際文化 文化財	人間文化学 比較社会文化 比較文化学	EPA文化研究	宗教文化	8
情報	経営情報学 情報通信工学 図書館情報学		社会情報学 情報管理学	医療情報学 情報管理	7
国際	国際文化	国際関係	国際政治経済学	国際コミュニケーション 国際マネジメント	5
社会		社会人類学 比較社会文化	社会科学 社会学 社会情報学		5
生活	生活科学		生活造形学	生活環境学	3
環境			都市・環境システム	生活環境学 人間環境学	3
人間		人間文化学		人間環境学	2
地域			地域研究		1
福祉				医療福祉学	1

5 おわりに

冒頭で述べたとおり、本稿は、機構が全国各大学の御協力を得て調査した結果のまとめを踏まえて、専攻分野に付記する名称のうちの新しいものの傾向について、整理・概観したものであるが、専門分野の区分の仕方、各専門分野への具体的割当てなどについて、改善の余地があるものである。

今後の調査結果も踏まえつつ、更なる精査に努めていきたい。

〈参考文献〉

- * 舘 昭「近年の学位制度改革に関する一考察」『学位研究』第3号、1995年。
- * 吉野正巳「学位に付記する専攻分野の名称について」『学位研究』第2号、1994年。
- * 後藤宏平「学位に付記する専攻分野の名称について」『学位研究』第5号、1996年。
- * 大学審議会答申「学位制度の見直し及び大学院の評価について」1991年。

[ABSTRACT]

Contemporary Trends in Nomenclature of Academic Degrees in Japan

Masaaki Muguruma*

Before the revision of educational codes of 1991, only Doctoral and Master's degrees were defined as “a degree” in Japan. Further, variations of each of them are restricted into 19 for Doctoral and 28 for Master's degrees. At that time, 29 Baccalaureate were legitimated just to be titles which are available for people who have completed undergraduate programs. After the revision, universities are legitimated to confer Bachelor's, Master's and Doctoral degrees along with appropriate names that show the major, in accordance with the fields in which they are awarded. National Institution for Academic Degrees (NIAD) has been conducting a series of surveys on those names of major attached to academic degrees awarded in Japan since FY 1994 with cooperation from universities.

Based on the results of this survey until FY 1998, this article summarizes the contemporary trends of terminology in the nomenclature of those degrees.

* Professor, Faculty of Assessment and Research for Degrees, National Institution for Academic Degrees